



特定非営利活動法人 わっか
2019年度月報告書

2019年 4月

だれもがまるごと
受け止められる
社会をつくる



NPO 法人 わっか

NPO 法人わっかとは

だれもが、まるごと受けとめられる社会 を目指して

活動を行なっている団体です。

子どもを取り巻く環境

子どもたちは「思うがまま」に過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。

いまの子どもたちは、自分では変えることができない社会環境や大人の意識の変化により

「思うがまま」に過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。大人の価値観による評

価、他者との比較や数字で表せる結果で、子どもの存在を条件付きで認める場ばかりになり、

さらには、地域社会においても、その子のまるごとを受けとめてくれる存在も少なくなっています。

また、学校、学習塾、習い事、スポーツクラブで多忙な毎日を送り、仲間も時間も空間も

なくなりつつあります。

私たちは、まるごと受けとめられる場づくりをしたいという思いで

居場所づくり事業 や 学び合い事業 などを行っています。



月ようわっか
毎週月曜日
15:30~20:00

4月のべ人数

大人12名 子ども125名

(大人10名 子ども76名) ごはんを食べた人数

1日 大人1名 子ども14名 (ご飯:大人1名、子ども10名)

メニュー: ごはん、小松菜のみそ汁、キャベツと豚肉の味噌炒め
.....

8日 大人1名 子ども24名 (ご飯:大人2名、子ども21名)

メニュー: ごはん、しめじと大根のみそ汁、さつま揚げ、サツマイモとコンニャクの煮物
.....

15日 大人1名、子ども24名 (ご飯:大人2名、子ども12名)

メニュー: ごはん、豆腐とえのきのみそ汁、じゃがいものバター醤油炒め、コンニャクのおかか和え
.....

22日 大人1名 子ども34名 (ご飯:大人4名、子ども16名)

メニュー: カレーライス、もしくはハヤシライス (お誕生日リクエストメニュー)
.....

29日 大人8名 子ども29名 (ご飯:大人1名、子ども17名)

メニュー: たけのごはん、大根葉のみそ汁、たけのこのオイスターソース炒め、焼き鮭



【nobi と Asuka の思い】

月曜わっかのごはんの基本的なカタチは「白ごはん・汁物・おかず」という、給食みたいなスタイルです。

今回はみそ汁について。。。。

みそ汁の具には、先週の残った旬の野菜や寄付で頂いたお野菜わかめやお揚げさんなどを入れます。

具材は2品以上必ず入ります。

色んなお野菜の旨味がでるので塩と味噌しか入れません。

いつも「みそ汁、汁だけにして」という子に

ある日、「何でみそ汁におかず入ってるん？」と聞かれました

???

全く意味が分からなくて、私が呆けてみそ汁の鍋におかず入れちゃったのかと思ったんですが

よくよく聞くと「みそ汁はわかめか巻麩だろ」との事

お野菜やお揚げや豆腐と一緒に入っているのは気持ちが悪い

なんですって。

そして、ごはんにみそ汁の汁をかけるのが美味しいんだから、

具があると邪魔というご意見も。

「みそ汁のネギが苦手だから汁だけにして」というのではなくて

少し乱暴な言い方にすると「具があると邪魔だし、なんだか変だから汁だけにして」

という事なのかと。

「みそ汁、汁だけにして」では読み取れない深い理由がそれぞれにあるんだな、と思いました。

日ようわっか
10:00~15:00

21日 大人3名 子ども9名 ボランティア2名

メニュー：ピザ



最近の日ようわっかの度になっているカナヅチ。



高学年の子たち。ゲームをしています。



ときどき、周りの子のことをみています。



みんなで、ごはんを作ります。



トントン、釘が見えなくなるまで打ち続けます。



ボランティアで来てくださった方が片付けまでしてくださりました。ありがとうございます。

waccafe 10:00～14:00 金曜日

8日、15日、22日

珈琲の落ちる時間を楽しんでいる自分に、ふと気づき、ゆっくりと呼吸しはじめる…来る人がそんな時間や空間になればという思いを込めた waccafe。

今月から開催日を月曜日から金曜日に変更しました。

のっぱらわっか 10:00～夕方（子どもたちが帰るまで）

3日 7名

野天の下、広い野原で好きずきに過ごす。雨に見舞われた時にはずぶぬれになりながら遊び、強風の時はパラソルを広げて自分も浮いてみたり。山に登りだす子、火を起こしに夢中の子、本を読んで動かない子、ごっこ遊びをはじめめる子、自分がやってみよう！にチャレンジできる、そんな場です。



寺子屋わっか 毎週水曜日 18:30 ～ 20:00

3日、10日、17日、24日 合計 11名（のべ）

「テレビの音も周りもうるさすぎる！」 「宿題する場所がほしい！」 大人数兄弟の子が声を上げた事からはじまった寺子屋わっか。

小学生から中学生の子ども達がスタッフと一緒に勉強しています。

12日、19日、26日

子ども 1名

< 事業の目的 >

現代の子どもたちは自分を”まるごと”受け止められ”ありのままの自分でいいんだ”と感じる経験が少なくなっている。それは、家族形態や就労環境の変化、地域社会・教育環境の変化という子どもたち自身では変えられない大人の都合によるものである。

その影響を子どもたちが受け、日々苦しさを感じている子どもがいることを我々は4年間の子どもの居場所づくりを通じて実感している。いわゆる自尊感情の低さにより日々の生活や勉強にしんどさを抱える子どもたちに出会ってきている。

子どもがまるごと受けとめられる経験をし、夢中になれるものを見つけ、安心して自分が夢中になるものを作りぬくことで、結果的に成長することを目的とした事業です。

そのために、小中学生に、彼らが夢中になるものを、やりたいように突き詰めるサポートを、一緒に過ごすスタッフやと子どものやりたいこと分野における専門家が行う。

スタッフと専門家が、子どものやりたいことを見守りつつ必要に応じて、学習面、生活面までのサポートし結果として子どもの学力の向上を目指します。



▶ Facebook ページ 『子どもの夢中全力サポート』にて来ている子が日々の様子を発信しています。

4月に頂いた みなさまからの 寄付

□ 物品でのご寄付

物品での寄付によって、わかかの活動が充実しています。4月にみなさまよりいただいたものをご紹介します。



- ご近所の N さま
古本（ドラえもん、釣りキチ三平など）
 - G さま：古本（犬夜叉など）
 - 2000 縁やさい箱さま：ねぎ、甘夏
 - I さま：使わなくなったおもちゃ
 - K さま：お菓子
- みなさまのお気持ちありがとうございます。

□ 資金

みなさまからの資金により、活動の子どもたちと過ごす日常を過ごすことができます。
4月に正会員や賛助会員、ご寄付として金銭での寄付をいただいた方をご紹介します。



- 近藤さま、対馬さま、佐藤さま
- 前田さま、畑野さま、谷口さま
- 河居さま、梶谷さま、F さま



団体名 特定非営利活動法人 わっか

住所 〒521-0012 滋賀県米原市米原 178-5

電話 070-1803-1059

メール wacca235@gmail.com

WEB <http://bouken-asobiba.jimdo.com>

・ Facebook ページ <https://www.facebook.com/wacca2014/>

・ ブログ : nobi と asuka <https://ameblo.jp/wakka-moon/>

